

製品名: シナプシンIウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe21272

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:74kD;Observed MW:74,70kD

抗原情報

遺伝子名	SYN1
別名	SYN1;Synapsin-1;Brain protein 4.1;Synapsin I
遺伝子 ID	6853.0
SwissProt ID	P17600
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

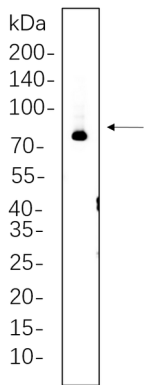
細胞局在: シナプス。この遺伝子はシナプシン遺伝子ファミリーのメンバーです。シナプシンは、シナプス小胞の細胞質表面に会合

する神経リン酸化タンパク質をコードします。ファミリーのメンバーは共通のタンパク質ドメインを特徴とし、シナプス形成および神経伝達物質放出の調節に関与していることが示唆されており、いくつかの神経精神疾患における潜在的な役割を示唆しています。シナプシンファミリーのこのメンバーは、軸索形成およびシナプス形成の調節に役割を果たします。コードされているタンパク質は、いくつかの異なるタンパク質キナーゼの基質として機能し、リン酸化は神経終末におけるこのタンパク質の調節に機能している可能性があります。この遺伝子の変異は、レット症候群などの原発性神経変性を伴う X連鎖疾患と関連している可能性があります。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



マウス脳細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、膜をシナプシンIウサギモノクローナル抗体(1:1000)でブロットニングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。